

葦

大阪発達総合療育センター機関紙
第56号 2025年 夏

社会福祉法人 愛徳福祉会

大阪発達総合療育センター

Osaka Developmental Rehabilitation Center

保険医療機関 南大阪小児リハビリテーション病院

INDEX

・特集に寄せて 船戸 正久	1	・リレーエッセイ	3
・特集に寄せて 川端 秀彦	1	・日本整形外科学会功労賞受賞	4
・海外人材と築く福祉の未来	2	・寄付金と寄付物品	4
・就任のごあいさつ	3	・職員研修実施状況	4
・日野原重明管弦楽団 ハートフルコンサート ～春の演奏会～	3		

■特集に寄せて

社会福祉法人 愛徳福祉会

理事長 船戸 正久



■特集に寄せて

南大阪小児リハビリテーション病院

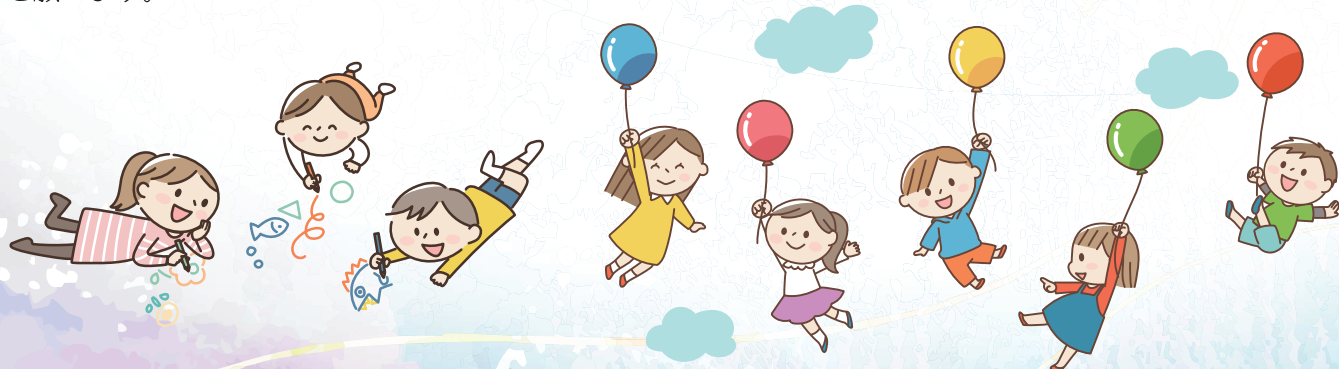
院長 川端 秀彦



今回は、2023年度から採用を開始した海外人材の紹介です。ベトナムから7名の技能実習生の採用から始まり、2024年度はミャンマーからの特定技能資格者、さらに2025年度はインドネシアからの特定技能資格者が入職しました。当センターの2F棟「わかば」7名、3F・4F棟「フェニックス」15名、生活介護「なでしこ」4名、本館栄養科2名、山坂分園グループホーム「きらり」6名と、現在計34名の海外人材の方々が私たちの仲間として働いていただいています。皆さんの宗教も様々ですが、非常に熱心に利用者の方々のために活動していただき、周りからも大変良い評判を得ています。一部の方々はすでに夜間勤務にも入っていただき、多職種協働チームの良い一員にもなってくれています。当センターもいよいよ国際チームとなってきました。当センターの良い伝統を引継ぎ、国は違いますがお互いに学び合い、切磋琢磨できるチームとして成長できることを願います。

本号が発刊される頃には梅雨も本格化し、夏の青空が待ち遠しい季節となっていることでしょうか。皆さまいかがお過ごしでしょうか。日頃より業務にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。

今号の特集では「海外人材と築く福祉の未来」をテーマに取り上げました。私たちの職場は多様な役割を担う仲間が集い、それぞれの専門性を活かしながら支え合うことで成り立っています。海外人材は今や30名を超え。その担う役割が当センターの大きな部分を占めつつあることを実感している今日このごろです。彼らが気持ちよく働けるように行う日々の小さな声かけや、ちょっとした手助けが職場全体の活力となり延いては利用者の皆さまへのより良いサービスにつながっていきます。これからも職員同士が支え合い、笑顔あふれる職場づくりを目指して共に歩んでまいりましょう。





海外人材と築く福祉の未来

療育部
山口 一平



当法人では2020年度より、先に海外人材の登用を進めておられた大阪APS(愛仁会・ペガサス・生長会)コンソーシアムに参加し、海外人材の登用に取り組んできました。

「技能実習生」として受け入れているベトナムの人材へは複数回にわたり訪越して授業を行ってまいりました。日本式の介護の知識・技術を来日前から学習してもらい、利用者様にとって支援がスムーズに提供できるように取り組んでいます。

「特定技能」として受け入れているミャンマー・インドネシア人材につきましては、webでの面接を行い採用が決定すると、母国で約6ヶ月日本語と介護について学び入国してきます。

しかしながら現地での介護の学習は主に高齢者介護技術である為に、当法人では独自に入国後3週間の『配属前研修』を行い、障がい児者への支援の知識・技術を学ぶ機会を設けています。また、東住吉区の他の障がい児者施設と協働で海外人材の受け入れにも取り組んでいます。配属前研修を合同で行うことで、各施設の負担を軽減することが出来ています。

海外人材の登用の取り組み初めのころは、法人内でも不安の声が少なく無かったのですが、職員に向けた説明会や海外人材との交流会などを通して、理解を深めてきました。



現在では技能実習生8名・特定技能26名が各事業に配属されて活躍しています。国別ではベトナム10名・ミャンマー8名・インドネシア16名の計34名です。

海外人材を登用して感じたことは、日本社会は今『2025年問題』で各分野の人手不足が課題となっています。当法人においてもご利用様の支援への人手不足が懸念されていましたが、海外人材の登用により人手の確保につながったと感じています。それだけ海外人材の存在はなくてはならないものになってきています。具体的には日常生活支援に留まらず、夜間勤務や送迎業務も任せられるようになりました。ご利用様やご家族様からの信頼も高くなり、それは偏に海外人材の本人たちが日々ご利用様に寄り添い、仕事に一生懸命取り組んだ成果であると感じております。更にそこに関わる職員も同調して、仕事の質の向上に継がることが多いとも感じます。海外人材育成の取り組みは、携わる人の多くの幸せと成長に繋がっています。



就任のごあいさつ

副センター長 竹本 潔



このたび、副センター長を拝命いたしました竹本です。私は「大阪発達総合療育センター」と命名され「フェニックス」が開設された2006年4月に入職し、センターと共に20年歩んできました。当センターは、多岐にわたる専門分野の職員が連携し、障がいのある人々が地域において安心して生活できるように、ご本人とご家族

を支える専門性の高い施設です。「謙虚と挑戦」の教えのもと、日々の業務に誠実に向き合い、支援の質の向上を目指してまいります。多職種がお互いにその専門性に敬意を表し、学び合い、安心して力を発揮できる職場環境を整えることが、利用者への最善の支援につながると信じております。今後とも、ご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



日野原重明管弦楽団 ハートフルコンサート ～春の演奏会～



ボランティア委員 医事課 佐藤 裕俊



4月15日、5Fホールにてボランティアで日野原重明管弦楽団によるハートフルコンサートが開催されました。プロの演奏家と専任者による、障がい児者やその保護者の心身・社会的に良好な状態を指すwell-Beingを目的とした演奏会で、聴き馴染みのある古典音楽を中心に演奏して頂きました。曲やその説明の素晴らしさはもちろん、入退場が自由・物音を出してもよいなど、普段の演奏会にはない聴く側への配慮や心遣いを随所に感じる事ができました。見越していた来場者数を大きく超えて、満席となった皆様からの笑顔や拍手の盛大さが、その満足度の高さを物語っていました。代表の中島氏より次回開催の宣言もあったので、今からその時が待ち遠しい限りです。



リレーエッセイ

あさしお園 理学療法士 飯田 純

こんにちは。あさしお園で理学療法士をしています、飯田です。今回は私の休日の一コマについて紹介させてください。この春、上京や転職によって離れ離れになってしまう友人たちとの思い出作りとして、着物を着て写真撮影を行いました。社会人4年目に入り、周囲の人たちが結婚や転職、引っ越しなど、別々の道に進んでいく様子を見て、少し寂しい気持ちになることもあります。

しかし、物理的な距離が離れ、以前のように簡単に会えなくなったとしても、「会いたい」という気持ちと、「会おう」とする行動力さえあれば、関係が疎遠になることなく続いていくものだとは私は思っています。

だからこそ、私は会いたい人には積極的に連絡を取り、会いに行くようにしています。

皆さんの中にも、「会いたいな」と思いながらも、なかなか会えていない人はいませんか？このエッセイをきっかけに、ぜひ連絡を取ってみてください。きっと、思ったよりも簡単に再会できて、あの頃の関係に自然と戻れるはずですよ。



日本整形外科学会功労賞受賞

2025年5月21日、南大阪小児リハビリテーション病院の川端秀彦院長が受賞されました。

日本整形外科学会は大正15年に設立され、「整形外科学に関する研究発表、連絡、提携および研究の促進を図り、整形外科学の進歩普及に貢献し、もって学術文化の発展に寄与すること」を目的としています。



感謝

大阪発達総合療育センターへの御理解・御協力誠にありがとうございます

(R7.1～R7.3)

(R7.1～R7.3)

一般寄付金

月	寄付者（敬称略）	
1月	春名威範 匿名 楽基金 1件	本園 本園 本園
2月	匿名	本園
3月	ナニワ6フォーラムネット	分園

寄付物品

	寄付者（敬称略）	物品名	
1月	匿名 匿名 匿名 藤岡浩史 〃 〃	ムートン敷マット、ビッグマックスイッチ タオル、バスタオル おもちゃ ベビーカー、バウンサー、抱っこひも おもちゃ、ベビー服	本園 本園 本園 本園 本園

寄付物品

	寄付者（敬称略）	物品名	
2月	有田奈央 〃 〃 匿名 田邊晴大	サイドテーブル、三段カート、お菓カレンダー ヨガマット、ベット、寝具一式 おもちゃ おもちゃ等	本園 本園 本園 本園
3月	藤岡浩史 匿名 石丸葵望 井上知里 匿名 難波京誠	チャイルドシート カレンダー SLB3足 ハイカットシューズ 子ども服 座位保持椅子	本園 本園 本園 本園 本園 本園



職員研修実施状況

令和7年1月～3月

当センターでは、質の高いチーム医療の提供をめざして、様々な職員研修を行い、技術の向上と知識の蓄積を図っております。

実施日時	企画部署	研修名	講師	参加人数	場所
令和7年2月25日(火) 17:40～18:40	教育研修部	人権研修 「合理的配慮・虐待防止」	療育部 主任 菅直樹	60名	5階ホール 他
令和7年3月4日(火) 17:40～18:40	セーフティマネジメント 委員会 教育研修部	医療ガス安全管理研修会・医療安全 研修会	株式会社ババ 加納直輝氏 看護部 内本薫	48名	5階ホール 他
令和7年3月8日(土) 13:30～17:30	教育研修部	新人フォローアップ研修	運営局 次長 宮崎春彦	13名	2階会議室
令和7年3月14日(金) 15:30～17:30	教育研修部	既卒者フォローアップ研修	運営局 次長 宮崎春彦	14名	5階ホール



大阪発達総合療育センター

URL : <http://osaka-drc.jp>

発行者・社会福祉法人 愛徳福祉会
発行責任者・船戸正久

南大阪小児リハビリテーション病院(保険医療機関)
フェニックス(医療型障がい児入所施設・療養介護事業・短期入所事業)
主として重症心身障がい児者
わかば(医療型障がい児入所施設・短期入所事業)
主として肢体不自由児
ふたば(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業)
主として肢体不自由児
いばき(特定相談支援事業・障がい児相談支援事業)
なでしこ(生活介護事業・児童発達支援事業)
TEL:06-6699-8731 FAX:06-6699-8134 〒546-0035東住吉区山坂5-11-21
訪問看護ステーションめぐみ(指定訪問看護事業)
TEL:06-6699-8855 FAX:06-6699-8856
ヘルパーステーションめぐみ(指定訪問介護事業)
TEL:06-7506-9223 FAX:06-6699-8856 〒546-0035東住吉区山坂5-9-16

大阪発達総合療育センターあさしお診療所(保険医療機関)
あさしお園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)
主として肢体不自由児
ゆうなぎ園(児童発達支援センター・保育所等訪問支援事業・障がい児相談支援事業)
主として難聴児
TEL:06-6574-2521 FAX:06-6574-2524 〒552-0004港区夕風2-5-3
きらり(共同生活援助事業・短期入所事業)
TEL:06-7501-0328 FAX:06-7501-0330
ひなた(生活介護事業)
TEL:06-7501-0319 FAX:06-7501-0330
みらい(放課後等デイサービス事業)
TEL:06-7501-0282 FAX:06-7504-0212 〒546-0035東住吉区山坂5-12-5